

去年三条昭栄店に参りました。先日、水上温泉で新入社員の入社式がありました。元日航スチュワーデスの奥谷れい子さんが講演をされました。

「物事は良い方に考えなさい」これをアフリカのセールスマンの例をとってこの様に言っておられました。ある商事会社に入った2人の新入社員が靴を売る為にアフリカに派遣されました。1人は誰も靴を履いていないので売れるわけないと考え、もう1人は誰も履いていないからよく売れます。売ってみせます。と言う。要は物事は考え様だという事が頭に残りました。

もう一点は「白鳥のようにになりなさい」人生は一生勉強であるという事で、白鳥は目に見える所は穏やかな感じだが目に見えない水面下は、足をバタバタして努力をしている、この様な人間になりなさい、という事でお話をされていました。

非常に頭に残っております。私共も新入社員が入って参りますが、こういう話を聞かせてあげようかと思っております。

つたない話、聞いて頂き有難うございました。

四つのテスト

— 言行はこれに照らしてから —

- | | |
|------------|------------------|
| I 真実かどうか | III 好意と友情を深めるか |
| II みんなに公平か | IV みんなのためになるかどうか |

4月7日例会： ロータリーを知ろう 私とロータリー 稲田憲治君

4月14日例会： 私とロータリー 稲田憲治前幹事



三条北ロータリークラブ週報

自分を越えた眼を

Look Beyond Yourself

国際ロータリー会長 ラジェンドラ・K. サブー 第2560地区ガバナー 橋本 力

例会日

1992. 3 . 31

累計 No 263

当年 No 38

会長／山 上 茂 夫

幹 事／堀 川 正 幸

S A A／味 方 義 一

例会日／火曜日 PM12:30～1:30

例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111

事務局／三条市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160

行 事： 新会員卓話「過ぎてしまえば18年」木本達郎君

出 席： 本日の出席 54名中35名

先週の出席率 54名中51名 94.44%

先週のメイクアップ： 3月25日 三条RCへ 石川勝行君

26日 燕Cへ 梨本建夫君

28日 吉田RCへ 高橋彰雄君

30日 三条南RCへ 山崎 勲君 長谷川恵慈君 外山晴一君 白崎哲

男君 吉川吉彦君 内藤 修君 山本 充君 笹原勝治君 佐藤啓策君

石月雅司君 加藤 実君 木本達郎君 馬場直次郎君

ビ ジ タ ー： 三条RCより 堀川政雄君 熊倉昌平君

三条南RCより 吉田秀治君

オブザーバー： 新会員予定者 坂本勝司様

会 長 挨 拶： 山上茂夫

大変暖かい陽気になりました。今日、テレビできれいに咲いた東京の桜を放映しておりました。段々と暖かくなって、活発に躍動的な季節に入って参ります。今日は三条クラブから堀川さん、熊倉さん、高橋さん、南クラブから吉田さん、ようこそ越し頂きまして有難うございました。今日はオブザーバー出席で、間もなく当クラブの会員となる予定の坂本さんにおいて頂いております。

先般日本にRI会長ラジェンドラ・サブー氏が参りまして、東京品川のパシフィックホテルでインターミーティングがございました。私がワイフ同伴で行ってお話を聞いて参りました。三条クラブ、三条南クラブからも幹事さん、SAAさん等がご出席されておりました。滅多にない機会ですので、お話を聞ける機会を持てたという事な私としても非常に喜んでいる次第でございます。お話の内容は「自分を越えた眼」という事で大変力強いお話がございました。大変過密なスケジュールの中、韓国から日本、東京へ、更に広島へ、それから香港等へ分刻みにスケジュールをこなしつつお

られます。開会の6時を少し遅れてお見えになりました。何故かと申しますと、宮沢総理にお会い
して、時間が延長したのだとご報告がありました。その中でお話された事は、R I 会長の持論
でございます「自分を越えた目を」。要するに自分の枠をはみ出して広く世界を見て欲しい。今、
地球全体の規模で、どういう事で困った人達がいるのか。或は自然破壊がどのように行われている
のか、といった事について、是非援助を差し伸べて欲しい。といい様なことでございました。それ
ぞれ地域によってニーズは違いますが、インド等では文盲の方が多い。そういう物は無くそう。飢
餓の問題、人口問題、環境破壊の問題、そういった事を多岐に触れて熱弁を奮っておられました。
一番感謝しておられました事は、ロータリー財団に対する日本からの基金が非常に多く、30位のラ
ンキングの中で8つ位日本が占めており、ベストテンの中にも上位2、3番を日本のクラブが占め
ているというお話でございました。そしてロータリーといいのは、地域に温かい心を持って、奉仕
をして頂きたいという事でございます。日本のロータリアン、日本国民は大変勤勉である為、自動
車産業等に於ては世界一になったという事で手本になる。何故かという、日本がその国のニーズ
をよく調査し、そのニーズに合った奉仕をした、ニーズを着実に行ってきて、それが10年後、先回
日本車の規制等があったにも拘らず、アメリカその他の国々で非常に大きなシェアを占めることにな
ったとお話をされておりました。そこでロータリーとしても、日本人の勤勉さ、ロータリアンの
温かい心が、相手の立場に立って物事を考えるという事を考えさせ、それが成功している原因では
ないかと申しておられました。それから同時にお見えになりましたロータリー財団の委員長さん
O.P.VAISH（ヴァイシ）という方で、お話はされませんでした。パーティーの席で私がお邪魔
をしてお話をしましたところ、日本は良い国で、しかもロータリアンは非常に温かいと感激してお
られました。両者両夫人連れでございまして、御夫人は民族衣装をまとして出席されていました。

私共のクラブに対してメッセージを頂戴いたしました。

Rotary club of north Rotary club Sanjo. message for members'.....

Your predident is very dynamic. as trustee of Rotary foundation. I wish you good luck.
O.P.VAISH.

続いて会長にもお願いしましたら、一緒に写真も撮らして頂きまして、次の様なメッセージを頂
きました。

Worm greetings. Please look for major service project and thus. Look beyond your self.

それにつきましても、私共は地域のニーズに合った、或いは、今の時代性に合ったサービスとい
う事を常に考えて、そして、会長はそれを実践していかなければならないという事を、つくづく感
じて参ったところでございます。大変良い機会を与えて頂きました皆様方、ロータリー、それから
天に感謝しながら、私のご挨拶と報告に代えさせて頂きます。有難うございました。

幹 事 報 告：堀川幹事

◇R I 日本支局財務室より振込銀行改名のご案内

す。ちょっと食べさせて頂きました。」と手紙を置いてきました。

水戸で、はじめて納豆の味、筋子の味を覚えました。九州では納豆や筋子はポピュラーではあり
ません。以後青森へ行った時も筋子やたらこを食べ、世の中にこんなおいしいものがあったのかと
思いました。

青森に転勤になりました。駅を降りた時、「津軽海峡冬景色」という歌が流れていました。とう
とう来たんだなあ、とポロッと涙が流れました。

青森店は1年目、2年目は売れなく非常に苦労しました。上司からどうして売れないのか電話が
かかって参ります。その上司も言葉の遊びを好むといいでしょうか、おもしろい人で、「しらけ鳥
と閑古鳥がいちゃついて卵生んでいるんじゃないか」という表現で怒られました。何度も言われる
ものですから私も慣れてきまして、「はい、最近はカラスが飛んで来るようになりました。」と言え
ば、「バカモン、」上司に口答えするとは何事かと言われました。私が出てから業績が上がり売れ
出したという事です。私は貧乏神だったのでしょうか。

次は新潟の村上へ。13、14年前ということになります。周囲に競合店が無かったという事で、山
形の県境小国や朝日村からお客様が来、よく売れました。周りには瀬波温泉、笹川流れがあり、非
常に良い所に回してもらったと思っております。

村上の次は秋田へ。

その時の店長の福原さんが、親分肌で一見ヤクザ風ですが、水戸黄門を見て涙を流すという涙も
ろい人でした。開店1か月位前、成功させようと血判状を作ったというジャスコの中でも有名な方
です。私もその一員でした。今も店長席の後に額に入れて飾ってあります。前代未聞などんな人な
のだろうと思ったのですが、その通りの血気盛んで、親分肌で、良い人に巡り合ったなあと感じて
おります。

秋田に2年位居まして横手へ行きました。横手では主婦の店と提携して、そこに最初の店長とし
て行きました。真面目に仕事をしたのですが、社員の3名が辞めて行ってしまい私が来たことが果
して良かったのかなと、その時思った次第です。時が経つにつれて慣れましたが、そこでは苦労し
た思い出があります。横手は雪が多く上から深々と降ってきます。酒田は日本海が近く風がひど
く、下から舞い上がる様に降ります。屋根付駐車場が無く、一冬雪の中に埋れていた車は、雪が溶
けて姿を現わすと穴がポコポコあいていて、やっぱり雪国は駐車場はピシャとしていないといけな
いなあと思いました。

家では私が九州弁で、女房が水戸弁、子供が横手弁で話し、まるで違った人種が集っているよう
な家族です。子供はその土地に早く馴染み、順応性が早いですね。それに比べ、既成概念が入った
らなかなか言葉を覚えられない。そんな気がしました。

横手に2年位居まして、そろそろ九州の方へという要望を受け入れてもらい、宮崎の百貨店に7
年間程居ました。冬は暖かく、年中ゴルフが出来、自由にさせて頂きました。